



水質測定用試薬セット No.13B ふっ素(遊離)

型式:LR-F-B

発色：赤→赤紫

測定原理：ランタンアリザリンコンプレキソン法

試薬：R-1(パック)

測定条件(推奨)

測定波長：620.0nm

測定方法：1. 検水をセルに入れ、ゼロ合わせを行なう。

2. 検水25mL をビーカーに採り、R-1試薬を加え、**全部溶けるまでよく攪拌する。**

3. R-1試薬投入15分後、吸光度を測定する。

4. 予め作成した検量線より、測定値を求める。

GHSマーク



警告

注意

「ラムダ-9000」(型式 L-9000)で測定する場合は、Ver.1.10以降をご使用ください。

(株)島津製作所製「UVmini-1240(Ver.1.20)」 「UV-1200」で測定する場合は、測定した吸光度 A から次式に従って濃度 C(mg/L)を算出してください。

$$C(\text{mg/L}) = K \times A + B \quad K = 2.23 \\ B = -0.43$$

測定範囲：0.2 ~ 1.2 mg/L



株式会社 共立理化学研究所

KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666
<https://kyoritsu-lab.co.jp> kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp

裏面もご覧ください。

この方法では、蒸留分離抽出液および自然水等、共存物質の少ない検水を対象にしており、検水中のイオン状態 (F^-) のふっ素が測定されます。

ほうふっ化物 (BF_4^-) は測定できません。全ふっ素測定前処理の蒸留操作は JIS K 0102 34.1 に従ってください。

使用前、使用後の取扱い注意

応急措置

試薬・測定液が **目に入ってしまったら** → すぐに多量の水で洗い流してください。

試薬・測定液が **皮膚や衣服にふれたら** → すぐに水で洗い流してください。

試薬・測定液が **口に入ってしまったら** → すぐに水で口の中を洗い流してください。

上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

特に、試薬・測定液を飲み込んだ場合には、水または牛乳を多量に飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

試薬の有害性については外箱背面の「GHSに基づく表示」をご参照ください。

試薬に関するお知らせ

本試薬は、取扱い者への SDS の提供を義務づけた「PRTR 法」「労働安全衛生法」および「毒物及び劇物取締法」には該当しません。

測定液は約 pH5 です。